

柔道競技

- 1 期 日 令和5年7月8日(土)
- 2 会 場 香川高等専門学校高松キャンパス 武道場
(香川県高松市勅使町355) TEL(087)869-3811
- 3 参加人員
各校から、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、
男子選手11名以内、女子選手(個人戦)4名以内、計18名以内とする。

- 4 競技日程
令和5年7月8日(土)
13:00～ 開会式
開会式終了後 男子団体戦リーグ
男子団体戦終了後 女子個人戦トーナメント
女子個人戦終了後 男子個人戦トーナメント
男子個人戦終了後 閉会式

5 競技規則

- (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」による。
- (2) 「優勢勝ち」の判定基準について
 - ア. 団体試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。「技の内容」と僅差の重みは、以下の順とする。
一本勝=反則勝>技有>僅差
チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。代表戦における判定基準は「技有」又は「僅差」以上とし、その延長戦の判定基準は、個人試合に準ずる。
団体戦の代表戦以外の試合において、「同時一本」の場合は「引分」とし、「両者反則負」の場合は両者負けとする。
 - イ. 個人試合の判定基準は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。
技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。延長戦による判定基準は「技有」以上の得点、又は「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
個人戦又は団体戦の代表戦において、「同時一本」もしくは累積による「両者反則負」の場合は、スコアをリセットし、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負」となった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦(ゴールデンスコア)を行い必ず勝敗を決する。
- (3) 男子団体戦及び男子個人戦では、関節技において、その効果があると認めるときは、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。ただし、絞め技においては、見込みによる判定は行わない。
- (4) 女子個人戦では、絞め技及び関節技において、その効果があると認めるときは、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。
- (5) 男子団体代表戦及び男女個人戦において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、時間無制限の延長戦により勝敗を決する。
- (6) 試合時間は、男子団体戦、男女個人戦ともに4分とする。但し、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。

6 競技方法

(1) 男子団体戦

- ・リーグ戦とし、各試合は点取り試合とする。
- ・リーグ戦における、チーム対チームの勝敗は、次により決定する。
 - (a) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (b) (a) で同じ場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (c) (b) で同じ場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (d) (c) で同じ場合は、引き分けとする。
- ・リーグ戦における順位は、次により決定する。
 - (a) 団体戦勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (b) (a) で同じ場合は、団体戦引き分け数の多いチームを上位とする。
 - (c) (b) で同じ場合は、リーグ戦の全試合における勝ち数の合計が多いチームを上位とする。
 - (d) (c) で同じ場合は、リーグ戦の全試合における勝ち内容のうち「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (e) (d) で同じ場合は、リーグ戦の全試合における勝ち内容のうち「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (f) (e) で同じ場合は、リーグ戦の全試合における負け数の合計が少ないチームを上位とする。
 - (g) (f) で同じ場合は、リーグ戦の全試合における負け内容のうち「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (h) (g) で同じ場合は、リーグ戦の全試合における負け内容のうち「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
 - (i) (h) で同じ場合は、代表戦を行う。
- ・1チームは、5名で編成し、試合ごとにオーダー変更を認める。オーダー表は、その試合前に速やかに提出すること。

(2) 男子個人戦

- ・体重別トーナメント戦とし、3位決定戦も行う。ただし、出場選手数が3名又は4名の場合は、優勝者に負けた選手で敗者復活戦を行い、準優勝、3位を決定する。
- ・1校から出場できる選手の数は、合計11名以内とし、各級への出場選手数には制限を加えない。
- ・各級重量を次のように分ける。
 - (a) 66kg級(66kg以下)
 - (b) 73kg級(66kg超73kg以下)
 - (c) 81kg級(73kg超81kg以下)
 - (d) 無差別級
- ・各級ともシード制を採用する。

前年度に優勝、準優勝、3位、4位になっている選手が、本年度同一階級に出場する場合に限り、シードする。
- ・計量は、代表者会議前に行う。
- ・抽選は、計量の時に行う。

(3) 女子個人戦

- ・体重別トーナメント戦とし、3位決定戦も行う。ただし、出場選手数が3名又は4名の場合は、優勝者に負けた選手で敗者復活戦を行い、準優勝、3位を決定する。
- ・1校から出場できる選手の数は、合計4名以内とし、各級への出場選手数には制限を加えない。
- ・各級重量を次のように分ける。
 - (a) 52kg級(52kg以下)
 - (b) 57kg級(52kg超57kg以下)

(c) 63kg 級 (57kg 超63kg 以下)

(d) 無差別級

- ・選手自身の階級よりも、一階級重いクラスに出場することができる。
- ・各級ともシード制を採用する。

前年度に優勝，準優勝，3位，4位になっている選手が，本年度同一階級に出場する場合に限り，シードする。

- ・抽選は，計量の時に行う。

7 参加申込

(1) 申込期限 令和5年6月7日(水)

(2) 申込先 〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

阿南工業高等専門学校 学生課 学生係

TEL : (0884)23-7134

FAX : (0884)22-4232

E-mail : gakusei@anan-nct.ac.jp

(3) 申込方法 所定の柔道競技参加申込書で申し込むこと。

8 計量

(1) 期 日 令和5年7月8日(土) 11:00～

(2) 場 所 香川高専高松キャンパス 武道場

(3) 方 法 次回開催校監督立会の下で行う。

9 競技の組合せ

(1) 期 日 令和5年7月8日(土)

(2) 方 法 男女個人戦は計量の時に，また，男子団体戦は代表者会議時にそれぞれ抽選・決定する。

10 代表者会議

(1) 日 時 令和5年7月8日(土) 計量終了後

(2) 場 所 香川高専高松キャンパス 武道場

11 開会式・閉会式

(1) 開 会 式 令和5年7月8日(土) 13:00～

(2) 閉 会 式 令和5年7月8日(土) 男子個人戦終了後

12 その他

(1) 計量に合格しなかった者は個人試合を失格とする。ただし，特別の理由があり代表者会議で認められた場合に限り，開会式10分前までに計量を行うことができる。

(2) 選手は，上着の背部に全日本柔道連盟規定のゼッケンを付けること。

(3) 選手の変更

参加申し込み後の選手の変更は，原則として認めない。ただし，特別の理由があるときは，男子団体戦及び女子個人戦に限り代表者会議で認めることがある。(変更願は，開催校所定の様式による。)

◎専門部委員 ○加藤 研二 (A) 野田 善弘 (N) 多川 正 (T)
(○印は専門部長) 松永 直也 (Y)

◎競技審判員
(○印は審判長)